

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1975 号

Renal scarring/function in high grade vesicoureteral reflux patients with anorectal malformation and bladder/bowel dysfunction

(直腸肛門奇形、膀胱直腸障害を有する高度膀胱尿管逆流の腎機能障害)

三宅 優一郎 (みやけ ゆういちろう)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、直腸肛門奇形を伴う高度膀胱尿管逆流における腎機能障害、膀胱直腸障害の相関性を初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。

直腸肛門奇形に膀胱尿管逆流症の高頻度合併は知られているが、腎機能障害との相関性については解明されていない。近年、膀胱尿管逆流症において、膀胱直腸障害が尿路感染症や腎機能障害に関与していることが報告されている。直腸肛門奇形において膀胱直腸障害の高頻度合併が予想されるため、直腸肛門奇形を伴う高度膀胱尿管逆流における腎機能障害、膀胱直腸障害の相関性について後方視的検討を行った。

直腸肛門奇形を伴う高度膀胱尿管逆流 (直腸肛門奇形(+)) 群では直腸肛門奇形を伴わない高度膀胱尿管逆流 (直腸肛門奇形(-)) 群と比べ、腎機能障害、膀胱直腸障害が高頻度に認められたにも関わらず、直腸肛門奇形(+)群は、経過観察期間中に腎機能低下は認められなかった。直腸肛門奇形(+)は排尿排便障害に対して治療介入を行なうことにより、尿路感染症の頻度・腎機能低下を予防する可能であることが示唆された。

直腸肛門奇形を伴う高度膀胱尿管逆流における腎機能障害、膀胱直腸障害の相関性について初めて明らかにし、今後の治療戦略を決定する一助になる論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。